

令和2年度事業報告書

【概要】

人と自然の豊かな関係をきずく“公園島”を目指し、淡路地域の活性化と花と緑あふれる地域づくりを推進するため、「淡路を担う人づくり」、「花と緑豊かな環境づくり」、「活気あふれる地域づくり」、「あわじ環境未来島構想の推進」の4つの柱で事業を推進した。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、国、行政の対応を踏まえつつ、事業の中止、延期、縮小など必要な措置を講じながら、感染防止に配慮しつつ弾力的かつ効果的な運営に努めた。

「淡路を担う人づくり」では、永田青嵐顕彰全国俳句大会において、いずれも過去最多となる約4,500名から約7,600句の投句があり、俳句を通じたふるさと意識の高揚を図った。

「花と緑豊かな環境づくり」では、島民の参画を得ながら島内各地で淡路花祭やあわじ花へんろ事業など多彩な緑花事業を展開し、一年を通じて花の島・淡路島をアピールした。

「活気あふれる地域づくり」では、淡路花博20周年記念花みどりフェアにおいて、昨年秋にプレイベントを開催し、3月20日より開幕した春期フェアを通じ、地域資源に恵まれた淡路島及び兵庫の魅力を全国に発信しており、併せて民間団体への各種助成等も行い、多角的に淡路地域の活性化と交流人口の増加を図った。

「あわじ環境未来島構想の推進」では、家庭用蓄電池の導入支援などにより、より一層の島民の省エネに対する意識向上を図ったほか、放置竹林をバイオマスエネルギーとして利用する活動に対し支援を行った。

【事業内容】

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止・延期・縮小等になった内容を(※)書きしている。

I 淡路を担う人づくり

1 淡路島くにうみ講座

淡路島の地域活性化と淡路を担う人づくりを目的として、年2回実施した。

(※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催回数を減らした(6回→2回)。)

<第1回>

演 題 「戦国時代の淡路島
～戦国の乱世から秀吉・家康の時代へ～」

講 師 武田 信一氏(淡路地方史研究会顧問)

実 施 日 令和2年9月3日(木)

場 所 洲本市文化体育館文化ホール

参加者数 182名



【第1回講座】

<第2回>

演 題 「私の人生
～自転車から見た淡路島～」

講 師 安田 裕己氏(安田大サーカス・団長、タレント)

実 施 日 令和2年10月28日(水)

場 所 洲本市文化体育館文化ホール

参加者数 119名



【第2回講座】

<第3回> (※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。)

演 題 「永田青嵐とその俳句」

講 師 安原 葉氏(俳人、俳誌「松の花」主宰)

実 施 日 令和3年2月21日(日)

場 所 洲本市文化体育館文化ホール

2 永田青嵐顕彰全国俳句大会

淡路島出身の俳人 永田青嵐(本名:秀次郎)の功績を広く全国に発信し、俳句文化を通じたふるさと意識の高揚を図るため、第12回全国俳句大会のほか、淡路島吟行バスツアー及び出前講座を実施した。

(1) 第12回全国俳句大会

投句募集期間 令和2年6月～9月末

応募人数 一般1,011名、学生3,437名 計4,448名 (過去最多)

投句数 一般2,005句、学生5,589句 計7,594句 (過去最多)

選 句 代表選者稲畑汀子氏と島内選者により受賞句を選定

表 彰 式 令和3年2月21日(日) (※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止し、受賞者には郵送に代えて対応した。)

(2) 淡路島吟行バスツアー

実 施 日 令和2年11月22日(日)

行 程 あわじ花さじき～絵島～夢舞台国際会議場(句会)

参加者数 27名



【絵島の散策】

(3) 出前講座

開催場所 淡路市立志筑小学校
開催日 令和2年9月18日(金)
講師 正井 良徳氏(島内選者)
参加者数 67名(同小学校6年生)



【生徒が作句した句の講評(志筑小学校)】

(4) 入門講座(全3回コース)

(※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。)

3 花づくり人材育成事業

(1) 花づくり講習会講師派遣事業

花づくり技術の向上や花づくり体験を目的とした講習会をNPO法人あわじ緑花協会に委託して講師を派遣し、材料費等の一部を助成した。

助成件数 14件

(2) 花みどりフェア記念「あわじ花と緑のコンクール」

四季折々の花や緑を大切に育てている個人、学校、事業所、グループが育てた花と緑の花壇や庭等の活動の成果を競うコンクールを春と秋の2回に分けて募集し、受賞者を決定した。



【最優秀賞 家庭部門】

募集期間 (春・初夏の部) 令和2年3月23日(月)～7月15日(水) (応募数:40点)

(秋の部) 令和2年9月1日(火)～11月30日(月) (応募数:28点)

表彰式 令和2年1月16日(土)冬咲きチューリップオープニング(洲本市民広場)内で実施(入賞17点)

写真展示 グランドニッコー淡路回廊ギャラリー(令和3年1月22日～2月6日)

(3) まちづくりガーデナー奨励事業

淡路島で花と緑のまちづくり活動に取り組むため、県立淡路景観園芸学校で学び、「まちづくりガーデナー」、または「まちづくりガーデナー・マスター」として知事認定証の交付を受けた者に対し受講料の一部を助成。

(※新型コロナウイルスの影響による休校のため本年度助成対象者なし。)

II 花と緑豊かな環境づくり

1 淡路花祭

花と緑あふれる公園島淡路の創造のため、関係機関・団体と連携・協働し、全島をあげて花と緑に関するイベントを開催した。

(1) 淡路花祭 2020 春(令和2年3月20日(金・祝)～令和2年5月31日(日))

① オープニングイベント (※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。)

実施日 令和2年3月20日(金・祝)
場 所 洲本市民広場(洲本市)
内 容 県立洲本高校吹奏楽部による演奏、ゆるキャラ PR、花と緑の講演会(富山昌克氏)、花植え体験

② 第7回お絵かき花壇づくりコンテスト

募集期間 令和元年12月16日(月)
～令和2年1月31日(金)

対象者 小学生及びその家族

応募数 30点

入賞数 10点

作品展示 令和2年3月28日(土)

～令和2年5月31日(日) 淡路島国営明石海峡公園



【入賞作品 ハワイ島のウミガメ】

③ 第7回淡路花祭フォトコンテスト

募集期間 令和2年1月9日(木)～令和2年6月10日(水)

部 門 「人・花」及び「花の札所」の2部門

応募数 112点

入選数 17点(グランプリ1点、各部門:優秀賞3点、佳作5点)

巡回展示 9月15日(火)～10月5日(月) 淡路文化会館

10月8日(木)～11月4日(水) 美菜恋来屋

12月3日(木)～12月24日(木) 洲本市文化体育館



【グランプリ(総合)】



【優秀賞(人・花部門)】



【優秀賞(花の札所部門)】

④ 花物語クイズラリー

期 間 令和2年3月 20 日(金・祝)～令和2年5月 31 日(日)

場 所 県立淡路島公園ほか 10 施設

応募者数 ・花へんろコース(パルシェ香りの館等の主要公園 5 施設) 108 名

・花さんぽコース(あわじ花さじき等「花の札所」指定の 5 施設) 76 名

当選者数 36 名 (各コース 18 名)

(2) 2020 秋(令和2年9月 19 日(土)～11 月3日(火・祝)<花みどりフェアイベントとして実施>)

① 第8回高校生花とみどりのガーデン

期 間 令和2年9月 19 日(土)～11 月3日(火・祝)

場 所 県立公園あわじ花さじき

出 展 者 県下農業系高等学校8校及び県立淡路
景観園芸学校(特別展示)



【上郡高校が創作した庭の展示】

② 小学生応援旗とシンボルオブジェ「渦潮と大鳴門橋」

期 間 令和2年9月 19 日(土)～11 月3日(火・祝)

場 所 うずしおドームなないろ館周辺

内 容 地元小学生の淡路島応援メッセージと花の
オブジェを展示



【小学生応援旗とシンボルオブジェの展示】

③ 淡路花祭フォトコンテスト歴代入賞作品展示

期 間 令和2年9月 19 日(土)～11 月3日(火・祝) ※終了後、常設展示

場 所 淡路夢舞台 展望テラス/レストラン2F 廊下

内 容 当協会で開催したフォトコンテスト第1回から第8回の入賞作品をパネル展示

(3) 2021 冬咲きチューリップショー

① オープニングイベント

実 施 日 令和3年1月 16 日(土)

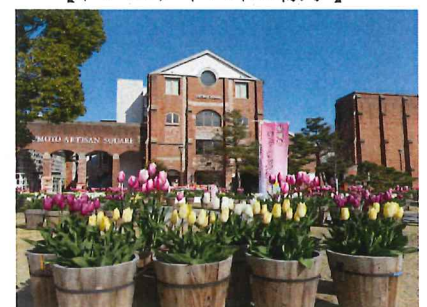
場 所 洲本市民広場

内 容 洲本こども園園児による鼓隊演奏、テープ
カット、バルーンリリース、花みどりフェア PR、
野菜産直市、竹細工教室等

参加者数 約 400 名



【オープニングイベントの様子】



【冬咲きチューリップショー(洲本市民広場)】

② 冬咲きチューリップ展示

期 間 令和3年1月16日(土)～2月24日(水)
場 所 洲本市民広場、御食国、洲本高速バスセンター、
県民局及び島内3市庁舎、神戸空港
内 容 5品種、11,400本のチューリップ展示



【冬咲きチューリップ展示(神戸空港)】

③ 冬咲きチューリップの島民への無償配布

実 施 日 令和3年2月25日(木)
場 所 洲本市民広場

(4) 2021春(令和3年3月20日(金・祝)～5月30日(日)<花みどりフェア(春期)として実施>)

① 第9回高校生花とみどりのガーデン

期 間 令和3年3月20日(土・祝)～5月9日(日)
場 所 県立淡路夢舞台9号園路
出 展 者 県下農業系高等学校11校

② 第8回お絵かき花壇づくりコンテスト

募集期間 令和2年12月14日(月)
～令和3年1月15日(金)
対 象 者 小学生及びその家族
応 募 数 32点
入 賞 数 10点
作品展示 令和3年3月20日(土・祝)
～5月16日(日) 淡路島国営明石海峡公園



【入賞作品 ぼくが住みたいキノコのおうち】

③ 第9回淡路花祭フォトコンテスト

募集期間 令和3年1月8日(金)～6月10日(木)
部 門 「人・花」及び「花の札所」の2部門

2 花街道づくり事業

観光客等からよく見える国道・県道、または交通量が多い市道沿いの花壇等を利用して、住民の参画と協働による花の街道づくりを実施する個人・団体に対して20万円を上限に助成した。

助成件数 24件

[内訳] 洲本市11件、淡路市10件、南あわじ市3件



【あわじ文化村協議会(淡路市)】

3 あわじ花へんろ事業

花の島・淡路島への一層の誘客を図り、淡路島の魅力を満喫していただけるよう、花の名所、景勝地、観光施設等 72 箇所を「花の札所」として指定し、整備費等の経費の一部助成や情報発信を行った。

花の札所 洲本市 20 箇所、淡路市 31 箇所、南あわじ市 21 箇所



【17 番札所 圓城寺】



【48 番札所 水仙の丘(DAFFODIL HILL INOUE)】



【花の札所スタンプ台】

(1) 花の札所への支援等

① 花の札所拡充事業

花の札所としてさらなる誘客や魅力向上に取り組む札所を支援するため、施設が行う整備事業に要する経費として 20 万円を上限に助成した。

助成件数 5 件



【階段 整備前】



【階段 整備後】

② 花の札所開花状況等情報提供促進奨励金交付

花の札所(公的施設等を除く)のうち、年2回以上の開花情報提供等があった施設に対し、1施設あたり2万円の奨励金を交付した。なお、提供いただいた情報は「花の札所 花だより」に掲載し、情報発信を行った。

交付件数 28 件

③ 花の札所連絡会(管理者会議)の開催(年1回)

(※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。)

(2) 広報 PR

① あわじ花へんろ・花の札所スタンプラリーの開催

花の札所を通じた花の島・淡路島への一層の誘客を促進するため、花の札所を巡り獲得したスタンプ数に応じて、淡路島の特産品などが当たるスタンプラリーを開催した。

開催期間 毎年3月1日～2月末日

ア あわじ花へんろスタンプブック(冊子版)の作成

「四季のスタンプブック」の小冊子を6,000部作成し、リーフレットと併せて、関係各所や希望者に配布した。

イ 花の札所スマホ版スタンプブック(WEBアプリ)の運用による情報

発信 登録者数:1,576名(R3.3.31現在)

ウ あわじ花へんろスタンプラリーリーフレットの作成

本事業のリーフレットを5,000枚作成し、広報活動を行った。



【2021 スタンプラリーリーフレット】

エ 応募状況

スタンプ数	コース名	賞品	応募者数	当選者数
10 スタンプ	Aコース	2021 花の札所カレンダー	55名	30名
	Bコース	淡路島玉ねぎ5kg	113名	30名
20 スタンプ	Cコース	淡路島スイーツ	110名	30名
35 スタンプ	Dコース	淡路島鮎原米 10kg	66名	20名
72 スタンプ	Eコース(満願成就)	淡路ビーフ	39名	20名
計			383名	130名

② 「花の札所 PR パネル」の刷新

「花みどりフェア」の開催に向けて、会場となる淡路夢舞台で常設展示している札所パネルのデザインを刷新し、「花の札所」を島内外に広く周知し、誘客を図った。

③ 2021 花の札所カレンダーの作成

花の島・淡路島の魅力のPR及び一層の誘客を図るため、四季折々の花の札所を紹介した「2021 花の札所カレンダー」を700部作成し、花の札所、報道関係機関、賛助会員等に配布した。

④ 花の札所花だよりによる情報発信

花の札所から提供のあった花の開花情報やイベント等を紹介する「花の札所花だより」を毎月(年12回)発行した。

発行部数 300部/月

配布先 主に花の札所、観光案内所など



【2021 花の札所カレンダー】

⑤ あわじ花へんろホームページによる情報発信

専用ホームページで、開花情報や花の札所からの最新情報などを随時発信した。

4 環境美化事業

「環境立島淡路島民会議」に参画し、「環境美化月間」及び「淡路全島一斉清掃の日」活動に係る広報活動を実施した。

環境美化月間 7月、11月

全島一斉清掃実施日 7月5日(日) (※中止)、11月10日(日)

Ⅲ 活気あふれる地域づくり

1 淡路花博20周年記念花みどりフェアの開催

国際園芸・造園博ジャパフローラ2000(淡路花博)から20周年を記念する「淡路花博20周年記念花みどりフェア」は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により令和2年秋の開催を見送り、令和3年春期と秋期に開催することとなった。

なお、令和2年秋は、新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じたうえで、屋外イベントを中心にプレイベントを開催した。

また、春期フェアは、3月20日より開幕した。

開催テーマ みなとつながる「花 緑 食の島」淡路

会期 春期 2021年3月20日(土)～5月30日(日) 72日間

秋期 2021年9月18日(土)～10月31日(日) 44日間

会場 メイン会場 淡路夢舞台及び国営明石海峡公園、洲本市中心市街地、淡路ファームパークイングランドの丘
サテライト会場 島内観光施設等



【企画委員会】	第1回	実施日	令和元年6月25日(火)
		場所	兵庫県民会館
		内容	基本計画(案)、ロゴ(案)、ポスター(案)
	第2回	実施日	令和元年10月4日(金)
	場所	兵庫県民会館	
	内容	2020年秋期実施計画(案)	
第3回	実施日	令和2年2月6日(木)	
	場所	兵庫県民会館	
	内容	2021年春期実施計画(案)	
第4回	実施日	令和2年11月30日(月)	
	場所	淡路夢舞台国際会議場	
	内容	春期・秋期実施計画の変更、プレイベント開催状況	

- 【実行委員会】
- | | | |
|-----|-----|-------------------------|
| 第1回 | 実施日 | 令和元年8月7日(水) |
| | 場所 | 淡路夢舞台国際会議場イベントホール |
| | 内容 | 基本計画(案) |
| 第2回 | 実施日 | 令和元年11月20日(水) |
| | 場所 | 淡路夢舞台国際会議場イベントホール |
| | 内容 | 2020年秋期実施計画(案) |
| 第3回 | 実施日 | 令和2年3月30日(月) |
| | 場所 | 淡路夢舞台国際会議場イベントホール |
| | 内容 | 2021年春期実施計画(案) |
| 第4回 | 実施日 | 令和2年6月18日(木) 書面開催 |
| | 内容 | 秋期祭典の開催延期及びプレイベントの実施 |
| 第5回 | 実施日 | 令和2年12月24日(木) |
| | 場所 | グランドニッコー淡路 ステラ |
| | 内容 | 春期・秋期実施計画の変更、プレイベント開催状況 |

【プレイベント】 令和2年9月19日～11月中旬
 LEDフラワー「天地開闢」、デジタル掛け軸「淡路島大叙事詩」、淡路ロハスピクニック“ALOHAS”、秋のカーニバル、花みどり謎解きスタンプラリー等のイベントをメイン会場中心に島内各所で実施し、期間中約17万人の来場があった。

① LED フラワー「天地開闢」

実施日 10月15日(木)内覧会、10月16日(金)～10月19日(月)
 場所 洲本市図書館中庭
 来場者数 1,599名

② デジタル掛け軸「淡路島大叙事詩」

実施日 10月16日(金)～10月18日(日)
 場所 洲本市民広場
 来場者数 1,205名

③ 淡路ロハスピクニック“ALOHAS”

実施日 10月17日(土)～10月18日(日)
 場所 洲本市民広場
 来場者数 4,624名



【LED フラワー
 天地開闢 ～国生み神話～】



【デジタル掛け軸 一期一会
 「淡路島大叙事詩 (オケッセイ)」】



【淡路ロハスピクニック ALOHAS】

【春期】 令和3年3月 20 日(土・祝)～ 5月 30 日(日) 72 日間

＜ 開会式 ＞

日 時 令和3年3月 20 日(土・祝)

場 所 国営明石海峡公園東浦口ゲート前



【テープカットの様子】

＜ 主な展示・行催事 ＞

○淡路夢舞台及び国営明石海峡公園

・春のカーニバル

・淡路夢舞台薔薇祭 2021

・ダンボールアート展 Produced by Taki Tamada

○洲本市中心市街地

・市民広場ステージイベント

・仙人画家 増田千代松展

○淡路ファームパーク・イングランドの丘

・村雨辰剛 庭づくり&トークイベント

・サキソフォックスとっておき音楽会



【ダンボールアート展】



【市民広場ステージイベント】



【村雨辰剛の庭「国生みの庭」】

2 地域活性化助成事業

淡路島の地域活性化を図ることを目的とした、まちおこし事業、地域交流事業、文化・芸術事業、及び「国生みの島」をテーマとした事業等を実施する団体に対して経費の一部として20万円を上限に助成した。

助成件数 7件(第1期:4件、第2期:3件)

3 淡路島誘客支援事業

(1) 花みどりフェアバスツアー助成事業

貸切バスを利用して「淡路花博 20 周年記念花みどりフェア」関連の指定施設を来訪するバスツアーに対して経費の一部助成について承認を行った。

[対象旅行期間] 春季フェア開催期間内

令和3年3月 20 日(土)～5月 30 日(日)旅行実施分

[助成内容]

区分	参加人数	基本助成額	加算助成額(該当する場合)		最大助成額
			新幹線・航空機利用	平日実施	
日帰り	10人以上	10,000円	10,000円	5,000円	25,000円
宿泊	10人以上	30,000円	10,000円	10,000円	50,000円

[助成承認台数] 日帰り 37台/参加者数 858人(令和3年3月31日時点)

宿泊 一台/参加者数 一人

(2) 淡路島誘客キャンペーン

淡路島観光協会が実施するWEBプロモーションや大阪の商業施設での淡路島フェアの開催等を支援した。

(※コロナ禍の状況を踏まえ、キャンペーン方法等を一部変更した。)

[中止したもの]

- ・映画館を活用した情報発信
- ・淡路島誘客CMのテレビ・ラジオ放送

[新たに取り組んだもの]

- ・Lmaga.jpを活用したプロモーション(令和2年6月～令和3年3月)
- ・OTA(実店舗を有しないWEB上の旅行代理店)を活用したWEBプロモーション(令和2年8月～9月、令和3年1月～2月)
- ・淡路島フェアの開催(令和3年3月9日～16日 場所:大阪市中央区・心斎橋 PARCO)
来場者数 約2,300人
- ・首都圏キャンペーンの実施(令和3年3月13日～3月27日 場所:銀座 蔦屋書店)

4 淡路島インバウンド対応推進事業

県民局等関係団体と連携して、ファムトリップや、WEBプロモーション用動画の製作とYouTube等を利用した動画配信、台湾・香港向け特設サイトの開設など淡路島の魅力的な観光情報を国内外へ発信した。

(※新型コロナウイルス感染症の影響による入国制限等ため、情報発信方法を一部変更した。)

[中止したもの]

- ・現地旅行博への出展等海外での現地プロモーション
- ・訪日外国人客の淡路島への誘致
- ・ホテルコンシェルジュへの働きかけ

[縮小したもの]

- ・ファムトリップの実施

令和2年10月2日 イギリス雑誌、10月27～28日 フランス旅行ガイドブック、12月18～20日 香港旅行ガイドブック、令和3年2月12日～3月29日 インフルエンサー取材

[新たに取り組んだもの]

- ・淡路島の風景、文化等のプロモーション動画制作と YouTube 等動画サイトによる国内外配信
(令和2年12月～公開)
- ・台湾、香港向け特設サイト開設による Web プロモーション(令和3年3月～公開)

5 淡路島観光協会支援事業

淡路島総合観光戦略を推進するうえで必要な情報発信の強化や多様なコンテンツの開発、マーケティングによる観光客の動態調査など新たな課題に対応していくため、その中心的役割を担う淡路島観光協会の体制強化と事業の実施を支援した。

- ・訪日外国人観光客動態調査(令和2年7月～9月)、同報告会(令和2年11月9日(月))
- ・訪日外国人観光客受入セミナー(令和2年10月12日(月)、11月9日(月) 各回25人)
- ・淡路島観光客満足度調査、淡路島観光におけるニーズ調査(令和3年2月～3月 いずれもインターネット調査)
- ・ホームページコンテンツの見直し及びスマホ対応(令和3年3月1日～)
- ・トレッキング・ウォーキング等コースの情報発信のため、ガイドブック制作(令和3年3月)
日本語版、英語版 各5,000部
- ・料理人セミナー(令和3年3月23日(火) 講師 (株)ウエカツ水産 上田勝彦氏)
参加者数 講演会 29名、実演会 19名

6 淡路島ブランド広域推進助成事業

淡路島の地場産品を利用して魅力ある「淡路島ブランド」として商品化し、島内外で広く事業を展開する団体に対して経費の一部として50万円を上限に助成した。

助成件数 1件

7 活力創生プロジェクト支援事業

(1) 淡路島ロングライド150支援事業

県及び島内3市等で構成する「淡路島ロングライド150実行委員会」に参画し、運営経費を負担するとともに、前夜祭及び出走当日の運営、広報、4箇所のエイドステーションでのふるまい等の活動を支援する。(※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。代替イベントとして、「アワイチサイクルフェスタ」を開催した。)

[アワイチサイクルフェスタ]

開催日 令和2年11月29日(日)
場 所 淡路島国営明石海峡公園
参加者 523名



【試乗ガイダンスの様子】

(2) 明石海峡大橋橋上イベント事業

県、島内3市等で構成する「本四道路活用イベント実行委員会」に参画し、地域間交流や本四道路の利用促進の一環として実施している体験ツアーの開催を支援する。

① 明石海峡大橋海上ウォーク

開催日 令和2年7月、11月（※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。）

② 大鳴門橋うずしおウォーク

開催日 令和2年9月（※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。）

(3) 広域連携イベント等支援事業

淡路全島で取り組む広域的な事業として、島内外の事業者と島内3市が連携し、淡路島の食と観光、住まいの魅力を発信する「淡路島ええもん 美味しいもんフェア 2020」の開催を支援した。

期間 令和2年10月27日(火)～10月31日(土)

場所 JA東京アグリパーク(東京都渋谷区代々木)

来場者数 2,554名

(4) Awaji Art Circus 支援事業

県、島内3市等で構成する「Awaji Art Circus 実行委員会」に参画し、運営経費を負担することにより、海外アーティストによる国際パフォーミングアートフェスティバルの開催を支援する。

(※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催中止となった。)

8 フィルムオフィス事業

淡路島内での映画、テレビ番組、テレビCMなどのロケ撮影に際し、ロケ場所の紹介、撮影コーディネート、エキストラの手配等を行う「淡路島フィルムオフィス」の活動を支援した。

(1) ロケ等支援

コロナ禍の中、撮影活動等が縮小しているが、6月～7月にかけて2件のドラマ撮影があり、地元調整などの支援を行った。11月には映画「とんび」、3月には令和4年放送のNHK連続テレビ小説「カムカムエヴリバディ」のロケ誘致にも成功した。

また、映画「名も無き世界のエンドロール」の1月29日からの公開に合わせ、配給会社とプロモーション連携し、ロケ地である南あわじ市丸山地区の魚彩館でパネル展示等地域PRを行った。

ロケ支援実績 13件(令和3年3月末現在)

[内訳] TVドラマ3件、TV番組6件、映画1件、CM1件、スチール撮影1件、プロモーションビデオ1件



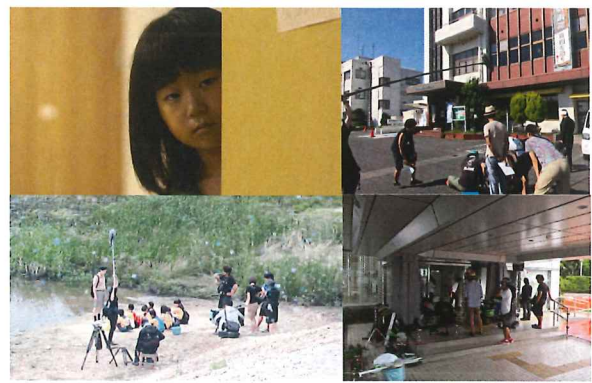
10/7～放送全 12 回
 【テレビ東京ドラマホリック「メンズ校」】
 (国立淡路青少年交流の家)



10/31～放送全 8 回
 【NHK 大阪よるドラ「閻魔堂沙羅の推理奇譚」】
 (淡路夢舞台、奇跡の星の植物館)



2021 年 1 月 29 日～公開中
 映画「名も無き世界のエンドロール」
 (海の展望広場：南あわじ市丸山地区)



2021 年 1 月 9 日～2 月 27 日公開
 映画「なんのちゃんの第二次世界大戦」
 (南あわじ市庁舎、淡路信用金庫ほか)

(2) うみぞら映画祭の開催支援

淡路島観光協会や、島内の映像・アート関係団体等で組織する「海の映画館をつくろうプロジェクト実行委員会」に参画し、映画祭の開催を支援する。

期 間 令和2年5月 30 日(土)～5月 31 日(日)

場 所 大浜海水浴場ほか

(※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。)

9 淡路島日本遺産推進事業

平成 28 年4月に認定された日本遺産「国生みの島・淡路」を生かした地域づくりを推進するため、県民局、島内3市、淡路青年会議所、淡路島観光協会等で組織する「淡路島日本遺産委員会」に参画し、今年度は淡路島日本遺産の情報発信、スマホ RPG の活用、「国生み神話」のアニメーション制作等にかかる経費を負担した。

・令和2年9月 19 日(土)～11 月3日(火)

花みどり謎解きスタンプラリー(淡路ファームパーク・イングランドの丘)

※花みどりフェアイベントとして実施した。 参加者数 1,029 組

・令和2年 12 月 19 日(土) サポータークラブ研修会 場所 玉青館 他

- ・令和3年2月 海人研究シンポジウム
(※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。)
- ・令和3年3月 島内報の発刊・島内全戸配布
- ・令和3年3月 アニメーション「くにうみ」の制作



【スタンプラリーチラシ】

10 令和の「御食国」プロジェクト

御食国と呼ばれる淡路島の多彩な食材などを活かし、食を核とした地域活性化方策等を検討するため、有識者、関係事業者等を構成員とした検討会の開催等に関する取り組みを支援した。

- ・令和2年11月20日(金) 令和の「御食国」プロジェクト検討会(第1回)
- ・令和3年3月16日(火) 令和の「御食国」プロジェクト検討会(第2回)

11 サイクリングアイランド淡路推進事業

県、島内3市及び淡路島観光協会と連携し、周遊スタンプラリーなどのPR事業を実施した。

- ・スタンプラリーイベント「Cycle BALL 日本7大1周制覇の旅」

実施場所 淡路島、琵琶湖、浜名湖、富士山、伊豆半島、霞ヶ浦、福島市、二本松市

期間 令和2年8月1日(土)～令和3年3月28日(日)

参加者数 全国 約10,000名

うち、アワイチ 827名(完走者559名)

- ・アワイチPRポスターの製作(2種類各100部)

掲示場所 近畿圏内サイクルショップ等

期間 令和2年7月～9月

- ・本四高速株式会社と連携したモニターツアーの実施

期間 令和2年11月14日(土)～15日(日)

内容 明石海峡大橋淡路側塔頂体験と島内サイクリング

参加者数 41人

IV あわじ環境未来島構想の推進

県、市、地域団体、企業等と協働して持続可能な地域づくりを目指す「あわじ環境未来島構想」を推進する。

1 あわじ環境未来島構想推進協議会の設置運営

【総会の開催】

実施日 令和2年6月8日(月)

内容 規約改正や総合特別区事後評価等の議決事項の協議

(※開催予定日が緊急事態宣言期間中であつたため書面決議として実施した。)

2 環境未来島シンポジウムの開催

(※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。)

3 あわじ環境未来島構想の啓発推進

(1) あわじ環境未来島見学セミナー

あわじ環境未来島構想に基づいて島内で展開されている各種事業への理解を深めるため、プロジェクトの現場等を見学するセミナーを開催した。

実施日 令和2年11月23日(月・祝)

場 所 淡路市内

行 程 淡路貴船太陽光発電所→五斗長垣内遺跡→北淡震災記念公園内
セミナーハウス(竹遊び・竹工作)

参加者数 24名

(2) あわじ環境未来島副読本活用事業

あわじ環境未来島副読本「みらい」を島内の小学生高学年等に配布し、授業で活用することで、構想への理解を深め、子ども達が淡路島の将来を考えるきっかけとした。

発行部数 2,500部(令和3年3月発行)

(3) あわじ環境未来島構想の推進に係る情報発信

ホームページによる構想の取組を随時発信した。

アドレス <http://www.awaji-kankyomiraijima.jp/>



【あわじ環境未来島構想ホームページ】

4 「EVアイランドあわじ」推進事業

(1) EV タクシー、レンタカー導入補助事業

EVの導入促進を図るため、島内のタクシー、レンタカーを対象として、電気自動車を購入またはリースにより導入する場合の費用の一部を支援する補助事業を実施した。(申請受付件数 一件)



【EVレンタカー】

(2) 電気自動車用充電器設置補助事業

EV タクシー、レンタカー導入促進に向けたインフラ整備を図るため、充電器の設置にかかる費用の一部を支援する補助事業を実施した。(申請受付件数 一件)

5 淡路島農と食の体験ツアー

島内外の一般消費者及び農と食に関心のある親子等を対象に、農作物のブランド化等の取り組みを進める農業生産法人等への現地見学や農業体験等ができるツアーを開催し、「農と食の持続」を推進する。(※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。)

6 竹資源供給体制整備事業

島内に豊富に存在する竹資源を、バイオマスエネルギーとして活用することにより、淡路島特有の再生可能エネルギーを創出するとともに、放置竹林の拡大を防止するため、地域住民が自ら行う竹林整備活動等に対して、資機材費などの支援を行う市に対して助成した。

実施期間 令和2年11月2日(月)～令和3年2月26日(金)
助成団体数 2団体

7 エネルギーの地産地消促進事業(家庭用蓄電池の導入支援)

島民の省エネに対する取組を促すため、太陽光発電設備が設置されている住宅に一定の要件を満たした家庭用蓄電池を設置する者に対して費用の一部を支援した。

受付期間 令和2年4月1日(水)～令和2年7月6日(月)
(募集期間は令和3年2月28日までであったが、予算額に達したため受付を終了した。)
採択件数 47件

8 住民参加型太陽光発電事業(住民参加型くにうみ太陽光発電所)

(1) 稼働状況等

県が住民参加型市場公募債を発行して県民から募った資金を発電所の建設・運営資金として借り受け、県立淡路島公園隣接用地にメガワット級の太陽光発電所を建設し、全量売電を行っている。

- ・場 所 淡路市岩屋2423番地(県立淡路島公園隣接用地約1.4ha)
- ・発電出力 950kW
- ・計画発電量 100万kWh
- ・令和2年度発電量 約132万kWh(一般家庭約300世帯分の年間電気使用量に相当)

(2) 長期経営計画

当事業は、県が県民債を発行して調達した資金(4億円)を借り受けて実施しており、発電実績は事業開始以降、安定して年間予定発電量(1,000,000kwh)を上回っている。

借入金 は売電収入から返済することとし、令和15年度まで償還計画通り毎年2,060万円ずつ返済していく計画である(令和3年3月末現在 借入残高 2億5,880万円)。

V 普及啓発

当協会の事業を周知するため、様々な媒体と機会を活用し情報発信に取り組んだ。

1 花みどりフェアを活用した広報

花みどりフェア春期開会式やメイン会場などにおいて、ノベルティグッズ(マイバッグ)やチラシを配布するなど、島内外から訪れる多くの方に積極的な広報を実施した。



【マイバッグ】

2 ホームページでの情報発信

ホームページで、当協会の事業及び淡路島の情報を発信した。

アドレス <http://www.kuniumi.or.jp/>



【協会ホームページ】

3 各種媒体を使った広報

ノベルティグッズ(「2021 花の札所カレンダー」や花の種等)を配布するとともに、地元情報誌など各種媒体を通じて協会事業を紹介し広報を行った。

4 協会広報紙(PROFILE)の作成

当協会の概要や事業を紹介する広報誌 500 部を作成し、配布した。



【協会広報紙 (PROFILE)】

5 淡路島花の応援団

淡路島の魅力を島内外に広く発信し、淡路島のイメージアップを図っていくため、島外の著名人で淡路島の魅力を広めることに賛同していただける方に「淡路島花の応援団」を委嘱している。

令和2年度は新たに1名の方に委嘱した。現在、計 11 名に委嘱している。

(1) 安田 裕己氏(安田大サーカス・団長、タレント)

委嘱日 令和2年 10 月 28 日(水)



【安田 裕己氏】

【附属明細書の作成について】

上記の事業報告に関して、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項に規定されている附属明細書により、その内容を補足すべき重要な事項はありませんので、附属明細書は作成していません。

令和 3 年 6 月

一般財団法人 淡路島くふうみ協会